



2010年8月27日

大阪経済記者クラブ会員各位

大阪商工会議所「BOP&ボリュームゾーン研究会」の開催について

大阪商工会議所は、2010年9月27日から「BOP&ボリュームゾーン研究会（全4回）」を開催します。

同研究会では、新たな市場として注目が高まる新興国の中間・低所得層（BOP*1、ボリュームゾーン*2）の最新動向をはじめ、そうした層を対象にした商品開発や販売方法などの具体的な企業事例、政府の取り組み等に関する最新情報を提供します。

今年度は、特にBOPビジネスに焦点をあて、その潜在力および日本企業がこれまで得意としてきた先進国市場とは異なるリスクについて、BOPビジネスの専門家および企業のBOPビジネス担当者が解説します（ボリュームゾーンは、来年度実施予定）。

【研究会テーマ】「外需獲得による企業の成長戦略とBOPビジネス」
「地域密着型マーケティングの実践」
「戦略的CSRとしてのBOPビジネス」
「政府の取り組み・支援体制」

<注釈> *1) BOPとは：

「Base Of the Pyramid」の略。世界の所得別人口構成で底辺層を占める年間所得3,000ドル以下の人達、約40億人が対象となり、市場規模は5兆ドルに達する。将来の成長を見込んで欧米企業は戦略的に市場開拓に取り組んでいる。

*2) ボリュームゾーンとは：

一世帯の可処分所得が年間5,000ドル以上35,000ドル未満の中間所得層。アジアでは、「中国4.4億人」「インド1.2億人」を含む8.8億人の市場規模。

<開催概要>

開催時期： 2010年9月27日（月）～2011年3月の間に4回
開催時間： 14：00～16：30（予定）
開催場所： 大阪商工会議所 会議室（大阪府中央区本町橋2-8）ほか
主 催： 大阪商工会議所
共 催： 株式会社日本政策金融公庫 国際協力銀行
協 力： 日本貿易振興機構大阪本部
プログラム： 添付資料ご参照
対 象： 新興国の中間・低所得層向け市場に関心のある企業
会 費： 全4回一括受講 大阪商工会議所 会員企業24,000円
〃 一般32,000円
以 上

<添付資料>

「BOP&ボリュームゾーン研究会」案内状

【お問合せ先】大阪商工会議所 国際部 担当：名越、竈門

☎ 06-6944-6400

外需獲得に向けた' The Next 5 billion' の可能性とリスクとは

新興国市場「BOP&ボリュームゾーン研究会」

内需減少が予想され、海外への輸出促進をはじめ、いかに外需を獲得するかが重要な課題となっております。こうしたなか、新興国におけるボリュームゾーン（中間層）*1、さらにはBOP*2（低所得層）を対象としたビジネスが注目を集めています。そこで、この度、大阪商工会議所は、新興国の最新動向、商品開発や販売方法をはじめ具体的な企業の事例、政府の取組み等、BOPやボリュームゾーンに関する最新情報を提供するため、「BOP&ボリュームゾーン研究会」を開催いたします。

本研究会では、特に本年度はBOPビジネスに焦点をあて、その潜在力および日本企業がこれまで得意としてきた先進国市場とは異なるリスクについて学ぶとともに、企業としてのメリットはどこにあるのか、また日本企業としてどういった戦略を組んでいくべきかについて、欧米企業や日本企業による先進事例を踏まえながら考察します。是非ご参加下さいますようご案内申し上げます。

<注釈>

*1) ボリュームゾーンとは：

一世帯の可処分所得が年間5,000ドル以上35,000ドル未満の中間所得層。アジアでは、「中国4.4億人」「インド1.2億人」を含む8.8億人の市場。

*2) BOPとは：

「Base Of the Pyramid」と言われる、世界の所得別人口構成で底辺層を占める年間所得3,000ドル以下の人達に向けたビジネス。約40億人が対象となり市場規模は5兆ドルに達する。将来の成長を見込んで欧米企業は戦略的に取り組んでいる。

<開催概要>

- ◆開催時期： 2010年9月27日（月）～2011年3月（全4回）
各回 14：00～16：30（原則）
- ◆会場： 大阪商工会議所 会議室（大阪市中央区本町橋2-8）
- ◆地図： http://www.osaka.cci.or.jp/Shoukai/Map_Tel/shozaichi.html
- ◆主催： 大阪商工会議所
- ◆共催： 株式会社日本政策金融公庫 国際協力銀行
- ◆協力： 日本貿易振興機構大阪本部
- ◆対象： 新興国市場に関心ある企業
- ◆定員： 30名程度
- ◆運営： 入会申込書の登録者をご登録会員とし、例会のご案内等の連絡はその都度ご登録会員にE-mailまたはFAXにてご案内致します。（代理出席可）
- ◆参加費： 【全4回一括受講】 大商会員： 24,000円 一般： 32,000円
【各回単独受講】 大商会員： 7,000円 一般： 9,000円
- ◆申込方法： 申込用紙に必要事項をご記入の上、**9月21日（火）までに**
FAX（06-6944-6293）にてお申込み下さい。申込受領後、請求書をお送りいたします。
- {お問合せ先} 大阪商工会議所国際部国際担当 名越、竈門
(TEL: 06-6944-6400 E-mail: nagoshi@osaka.cci.or.jp)

～プログラム～

【第1回】「成功する BOP ビジネスとは～その秘訣と課題～」

日 時： 2010年9月27日(月) 14:00～16:30

場 所： 大阪商工会議所 地下2号会議室

内容・講師： 「外需獲得による企業の成長戦略

～ ”鍵”は、世界のボリュームゾーンに向けた BOP ビジネス」

駿河台大学経済学部・同大学院経済学研究科 教授 水尾 順一氏

(資生堂社友。現在、経済産業省での BOP ビジネス政策委員会

「ワーキンググループ座長」としてもご活躍)

「日本企業の取組み事例

～アフリカ市場における地域密着型マーケティングの実践」

ヤマハ発動機(株) 海外市場開拓事業部第一開拓部北部東アフリカグループ

グループリーダー 平田 順氏

【第2回以降のプログラム予定】

| | | |
|-----------|--|--------|
| 第2回テーマ | ：「アフリカ経済の最新動向と BOP ビジネスの現状」(仮題) | 11月頃 |
| スピーカー(予定) | ：国際協力銀行 株式会社日本政策金融公庫(J-BIC)、住友化学株式会社 | |
| 第3回テーマ | ：「戦略的 CSR としての BOP ビジネス～欧米企業および日本企業の事例」(仮題)」 | 12～1月頃 |
| スピーカー(予定) | ：味の素株式会社、ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社 | |
| 第4回テーマ | ：「中小企業の事例紹介と政府の取組み・支援体制等について」(仮題)」 | 2～3月頃 |
| スピーカー(予定) | ：中小企業、(独)日本貿易振興機構等 | |

※第2回以降の講師・プログラムは、講師都合により変更される場合があります。

FAX: 06-6944-6293 大阪商工会議所 名越行 「BOP&ボリュームゾーン研究会」参加申込書

| | | | | |
|------------------------------|---|-------|---|------------------------------|
| 貴社名 | (フリガナ) | | 会 員 号 | <input type="checkbox"/> 非会員 |
| | (日) | | | <input type="checkbox"/> 会員 |
| | (英) | | K | - |
| 業 種 | (日) | | 所属部署(日) | |
| ご 役 職 | (日) | | | |
| ご 芳 名 | (フリガナ) | | | |
| | (日) | | | |
| 受講希望 | <input type="checkbox"/> 4回通しで受講する | | <input type="checkbox"/> 第1回(9月27日)のみ単独受講する | |
| ご連絡先 | (フリガナ) | | | |
| | ご住所 | 〒 | | |
| | TEL | | FAX | |
| | E-mail | | | |
| 貴社の BOP 市場参入動向 (○をご記入下さい) | () 取り組み中 (国名:) () 前向きに検討中、() 情報収集段階、() 考えていない | | | |

参加費 計 円を 月 日に 銀行へ振込みます

※振込人名義(カナ) []

個人情報の取り扱いについて

※ご記入頂いた情報は、大阪商工会議所からの各種連絡・情報提供(Eメールによる事業案内を含む)のために利用するほか、講師には参加者名簿としてお渡しすることがございますのであらかじめご了承ください。